公益財団法人ひろしま産業振興機構

マッチングフォーラム開催のご案内

当財団では、企業の技術開発及び製品開発を支援するため、企業が求めるニーズと大学や研究機関が持つ魅力的な技術シーズを結ぶきっかけの場を提供します。

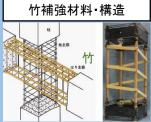
研究現場を訪問し、先端の研究内容に触れるとともに、事業化に向けて研究者と意見交換を行う、「ニーズ/シーズのマッチングフォーラム」を開催します。

産業廃棄物や自然素材 を活用した環境負荷低減 材料の開発

~環境問題、資源問題を解決する事例~

ジオポリマー





竹筋コンクリート構造

講師:近畿大学

工学部 建築学科

大学院システム工学研究科

次世代基盤技術研究所 准教授 寺井 雅和 氏

キーワード:環境問題、建築生産、コンクリート構造

令和5年



会場 近畿大学工学部・広島キャンパス(東広島市高屋うめの辺1番)

定員 15名(先着順・定員になりしだい締め切らせていただきます。)

対象者 エコ材料の開発に興味のある製造メーカー など

♥込方法 Web、メールまたはFAXのいずれかで、お申し込みください。

参加費無料

技術シーズの概要

世界で多発している異常気象は、 CO_2 の増加に伴う地球温暖化が原因とされている。2050年カーボンニュートラル実現を見据え、建設業界でも脱炭素へ向けた取り組みは加速している。ここでは、セメントを使用しないコンクリート、ごみ(産業廃棄物)を新しい材料に有効利用する方法など、 CO_2 を削減する技術や方策の事例について紹介する。

このような企業様におすすめです

環境問題に取り組まれている建設 業,建材メーカー。特に, CO_2 低 減を目指して新たな材料を模索さ れている企業



竹の伐採や処分、馬や豚など毛の 廃棄にお困りの農家や行政の方々。 これら繊維質材料の新たな活用方 法に興味のある企業



お問い合わせ先

公益財団法人ひろしま産業振興機構 ものづくり革新統括センター [担当:住川・神田] **☎082-240-7712**

主催:公益財団法人ひろしま産業振興機構

ガラスを有効利用しセメントを使用しないコンクリート

ジオポリマーは、セメントを使用しないコンクリートとして注目されている。セメントの代わりに廃棄ガラスやごみ焼却灰などの産業副産物を大量に消費するため、環境問題・ごみ問題などを解決する有力な手段の一つとして期待されている。ガラスは市場に流通している約5割がリサイクルされず、ごみとして廃棄処分されている。これを新たな建材として大量消費することができれば、環境問題解決に繋がる。また、温室効果ガス排出量の多い火力発電を削減し、太陽光発電が推進されているが、太陽光パネルのガラスも耐用年数が過ぎて大量廃棄されることが近い将来見込まれている。このガラスも新たなリサイクル先として活用が期待される。

自然材料(竹)を有効利用した建材および構造

コンクリート(モルタル)はひびわれが発生すると美観を損なうだけでなく、内部の鉄筋が錆びるので大きなダメージを受けることに繋がる。ひびわれ抑制には、繊維材料を入れると補強効果が期待できる(繊維補強材料)。竹は成長が早く、頻繁に手入れをしないとあっと言う間に竹藪になるため、農家や行政は伐採や処分に困っている。この伐採竹を有効活用できる技術である。竹以外の植物や動物の毛も補強材として利用可能である。強度増加は微々たるものだが、自然材料を積極的に使うことで資源の有効活用、エコな製品という付加価値を与えてくれる。

マッチングフォーラム 参加申込書

申込期限	令和 5 年11月2日(木)13:00 必着		
URL QRコード®	QRコードまたはURLからアクセスしていただき、必要事項をご記載のうえお申し込みください。 奥教皇 https://www.hiwave.or.jp/event/39128/		
メール	kaihatsushien@hiwave.or.jp	●メールまたはFAXでお申し込みいただく場合は、 - 下の太枠内に必要事項をご記入いただき、送信して ―	
FAX	082-242-7709	ください。	

企業・団体名		所在地		
連絡ご担当者	所属	役職	氏名	
電話番号		E-mail	E-mail	

ご出席者

所属	役職	氏 名